

当初・変更

工事執行機関 41340 会津若松建設事務所

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	平成27年11月26日
工事番号	15-41340-0294	工事名	改修河道計画検討業務委託（河川・交付）	着工	平成27年11月26日
入札執行年月日	平成27年11月25日	発注種別	22 土木設計	完成	平成28年3月31日
審議番号	公所	000000	本庁		
路線・河川名	只見川筋 外			予定価格	
工事箇所 自	大沼郡金山町大字大塩地内 外			8,510,400	
至					
工事概要	改修河道計画検討 N=1式				

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額(契約額)
300006470 (株)建設技術研究所 福島事務所	福島市 大町7-25		
	(1) 7,850,000 (3)	(2) (4)	8,478,000
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

随意契約及び単独見積理由書

只見川は、平成23年7月の新潟・福島豪雨により甚大な被害を受けた。

これまで、災害復旧事業に取り組み、昨年8月には全ての復旧工事を完了させた。また、今後の浸水被害防止・軽減を図るために「只見川圏域河川整備計画」の見直しを進め、本年3月に国から認可を受けたところである。

被災から4年が経過し、只見川の河川整備事業は、早期の工事実施が強く望まれている。

【業務委託概要】

築堤や護岸などの河川施設の予備設計に先行して、複数の具体的対策案で洪水解析を行い、計画高水位等の検証・評価を行うものである。

【随意契約理由】

- ・ 洪水解析を行うためには、河道の形状や流量などの条件を入力し、洪水実績との整合も確認した、その河川特有の「洪水解析プログラムの作成」が必要となる。
- ・ 只見川においては、昨年度までに当事務所が委託した治水計画検討業務委託の中で（株）建設技術研究所が作成し著作権を有するプログラムがあり、今回行う業務委託では、これまでの計画値と整合を図る必要があるため、この既存プログラムを使用する必要がある。
- ・ プログラムの運用にあたっては、機械的にできるものではなく、只見川の特性を十分に踏まえた判断が必要であるが、同社は、河川に関する豊富な経験と高度な知識を有するとともに、本業務の根幹となる阿賀野川水系全体の「河川整備基本方針」策定業務を国から受託するなど、以前から阿賀野川水系の河川計画を熟知している会社であることから、十分な品質が期待できる。
- ・ 既存プログラムを利用することにより、一から新たにプログラムを作成することに比べて、委託費用が縮減でき、工期の短縮も図れる。

以上の理由により、「その性質又は目的が競争入札に適しない契約をするとき」のため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づき随意契約とし、「契約の内容又は性質上、2人以上の者から見積書を徴することが困難又は不相当である」ため、福島県財務規則第269条関係の1の(3)の規定により単独随意契約としたい。